



第13回卒業証書授与式

校長 河野 秀樹

本日、令和6年度の修了式が行われました。6年生はいませんでしたが、きれいな歌声は引き継がれ体育館には響き渡っていました。

去る3月24日(月)に、第13回卒業証書授与式が行われました。式の前に、校庭で在校生とのお別れ式が行われました。5年生代表の尾崎さんは、6年生から見習いたいことを二つ紹介していました。①クラブ活動で誰もが楽しめるように工夫をしていたこと②様々な役割に積極的に挑戦していたことです。自分もそのような6年生になりたいと話してくれました。6年生代表の平野さんはそれぞれの学年との思い出を一つ一つ語ってくれました。特に1年生と一緒に遊んだ後に、1年生から「楽しかった」「また、やりたい」「ありがとう」などと言われ元気をもらったと話してくれました。また6年間一緒に生活してきた友達へは、出会えたことやつながりができたことに感謝しながら、この後の卒業式も頑張ろうと強い意気込みを伝えてくれました。最後に全校児童1063名で「美園チャチャチャ」をし、互いに笑顔でお別れをしました。

その後体育館で行われた式では、さいたま市やさいたま市教育委員会からの御来賓や学校運営協議会委員の皆様のご列席を賜り、厳粛な雰囲気の中、182名全員が一人一人卒業証書を受け取りました。私は式辞の中で渋沢栄一氏を取り上げ、小学校や中学校での学びはしっかり身に付くことで習慣になり、それはその後の生き方に繋がっていくので生かして行ってほしいことを伝えました。教育委員会の祝辞では北口榛花氏を取り上げられていました。これから出会う様々な事柄に興味をもち、何にでも挑戦し、自分が輝く場所を見つけたいということや、失敗は財産であり、経験は無駄にはならないということをお話していただきました。さいたま市長の祝辞では、小澤征爾氏を取り上げられ、夢や希望を持つことの大切さや、困難にぶつかっても情熱をもって努力することの大切さをお話していただきました。PTA会長の小川様は、6年生から運動会でたくさんの感動をもらったことや、自ら学び続けることの大切さ、経験したことは決して裏切らないから挑戦し続けてほしいと話してくださいました。

式次第にある「巣立ちの言葉」の中で、5年生はリードしてくれた6年生のバトンをしっかり引き継いで、美園小を創っていくことを力強く語っていました。新しい美園小を創り上げていく意気込みを感じることができ、嬉しく思いました。6年生は今まで身に付けた力を中学校でも発揮していくこと、仲間と助け合って前向きに頑張ること、夢と希望に向かって進んでいくことを誓っていました。そして最後の「旅立ちの日」に「校歌」をしっかりと歌い上げ、たくさんの拍手の中で巣立っていきました。

保護者の皆様、地域の皆様には、一年間本校の教育活動への御理解、御協力をいただきましたことに感謝申し上げます。卒業・進級していく美園小の子どもたちには、健康や安全に留意して、それぞれ新たなステージに向けてよいスタートを切ってほしいと願っております。